

B-99 被服衛生加工剤の研究 (第1報) ラルーベン成分の効力について

夙川学院短大 和田 美幸

1. 繊維科学の発達は著しいが、最近とくに繊維の衛生的加工の研究に大きな関心もたれてきた。ドイツで発明発売されたラルーベンが、被服衛生加工剤として優秀な効果があるとの報告があったので、その効力—防腐力、防黴力、殺虫力について実験を試みた。

2. ラルーベンは、パラクロールメタークレゾールおよびクロールキシレノールの混合物である。

検体として、ラルーベン成分のパラクロールメタークレゾール(A)、4-モノクロール-3,5-キシレノール(B)、2,4-ジクロール-3,5-キシレノール(C)、2,4,6-トリクロール-3,5-キシレノール(D)を用いた。それらの当量苛性ソーダをそれぞれ3,000(i)、5,000(ii)、10,000(iii)倍溶液に供試布片を一夜浸漬し、50%絞りとなし、室温で乾燥させたものを、さらに10%酢酸アンモニア溶液に1時間浸漬乾燥したのについて、防腐力、防黴力、殺虫力試験をおこなった。試験結果の詳細については、別刷のプリントで示すことにする。

3. ラルーベン成分の効果を比較検討したところ、(B)が最も有効であることが実証された。